

【１】物質は、大気、水、土壌および生物などの間で、いろいろなかたちへと変化しながら、地球を循環している。この循環のおかげで大気は一定の組成に保たれ、土壌は植物を育てる力を保ち、河川・湖沼・海は生物をはぐくむ養分をたくわえることができる。またオゾン層は地上の生物の生命を守り、地球全体の環境維持に役立っている。しかし、人口の増加とともに人々の生活が変化し、経済活動が活発になるにつれて、1900年代頃から地球の各地域でこれらの環境に変化が現れはじめた。世界人口と大気中への二酸化炭素排出量および水需要量の変化についてどのようなことがわかるか？

【２】地球環境問題の経済活動拡大と人口増加からの相互関係について、図１－２を参考に示しなさい。

【３】文章を読んで（ ）内に適語を入れよ。

（１）18世紀の（ ）にはじまった近代化は、工業生産力を著しく発達させていった。さらに輸送手段の進歩は、人や（ ）の移動、また（ ）を飛躍的に増大させ、多くの工業製品を世界中に行き渡らせた。しかし、その背景では、資源を大量に採取し、（ ）、（ ）が行われ、（ ）が大量に排出され、さまざまな地球環境問題があきらかになってきた。地球環境は、人類を含む（ ）となるものである。わたしたちは、資源の消費を（ ）し、環境への負荷を（ ）に留め、健全な環境が将来に向けて維持できるような、（ ）な社会の形成に努めなければならない。

（２）資源の保全と、廃棄物の量を減らすためには、資源採取→生産→消費→廃棄という一方通行の流れではなく、生産から廃棄にいたるまでのそれぞれの段階で、資源の有効利用を考えていかなければならない。そのためには【 】（ ）・【 】（ ）・【 】（ ）が求められる。これら三つの頭文字をとった【 】が、これから進められるべき目標とされている。そして理念だけでなく、実際にこの【 】を推進できる社会システム、すなわち（ ）社会をつくっていくことがたいせつである。そのためには、社会を構成している人間一人ひとりが、豊かさは（ ）とともにあるという意識をもつことが重要である。

【４】図１－９循環型社会における資源の流れについて書き写しなさい。